

【自由課題 アカウナビリティ部門 最優秀賞】



独立行政法人 水資源機構 利根導水総合事業所
武蔵水路改築建設所 調整課

神田橋 修

〔 住民参加による周辺整備計画について 〕

【研究（取組）概要】

昭和42年に完成した武蔵水路は、東京・埼玉県南地域の水供給を支える重要なインフラである一方で、地元の行田・鴻巣市には受益がなく、地域住民からは「地域を分断する迷惑施設」として認識されていました。

本稿は、「迷惑施設」という認識の中、事業実施段階の武蔵水路改築事業において「住民参加」の取り組みを行い、事業の円滑化を図ったものです。

【研究（取組）の特徴】

取り組みの特徴は、①テーマを「水路の周辺整備」にしたこと②「ワークショップ」を中心に意見を直接把握したこと③「整備シート」を作成し意見の取りまとめを行ったことです。

テーマを周辺整備にしたことで、より生活に密着した意見を聴くことができ、約1年かけて30回開催したワークショップでは延べ600人を超える参加者と直接対話することができました。また、把握した200を超える意見に対しては、我々の対応を記載した整備シートを作成し、ホームページ、公民館等で周知したことで、住民に安心感を持ってもらうことができました。

こうした取り組みを行うことで、当初「迷惑施設」としていた地域住民から徐々に信頼を得ることができ、円滑な事業実施につながっています。

公共事業における住民との合意形成は、事業の構想段階から行うと効果が大きいとされていますが、実施段階においても一定の効果が確認できました。

【受賞の感想・今後に向けて】

今回、我々の取り組みに対し、高い評価を与えていただいたことに感謝しています。現在、地域住民とは非常に良好な関係が保たれていますが、今後この関係が維持で